※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

おいしい発見、スチームの力！

～スチーム オーブンレンジ～

いまやレンジは簡単、便利なだけじゃない！
レンジに"おいしい"を求めた技術者たちがいた。
頭に蒸気を立ちのぼらせ「スチーム機能」開発へ挑んだ面々に、
All About 家電ガイド・戸井田 園子が出会った！

まずは　腹ごしらえ
第1話　おいしいレンジを夢みて
第2話　伝説の商談会
第3話　スチーム倍増計画
第4話　スチームに翻弄された日々
おまけ　それぞれの思いをのせて

スタッフ一覧へ／ まずは「腹ごしらえ」へ

このコンテンツ、あなたの評価は？ ○ おもしろい ◉ ふつう ○ おもしろくない 送信

© Panasonic Corporation

※画面は機種により記載になります。内容は記憶日のものです。機能の表現とは異なる場合があります。

腹ごしらえ

市川 亜子（いちかわ・あこ）
プロジェクトーカーマイシリンプ無限を担当。
ISM（ism）の広報担当。
電脳ポイントプロジェクターター、
伝説放棄者が集で、
インターネットサイト、
All About「家電」ガイドを担当。
家のことから、
家のことから全ないまの人生決。
All About 家電ガイドはこちら。

初のオーブンレンジ（1977年）
「ヘルシオ」登場。どこでも使えるから

最新の家電ICT家電
ISM

電子レンジは長一いともだち

皆さん電子レンジは使ってますか？

今や、電子レンジの使方単は なんと95%を超えています。[1分]
調理器ですあると。
もと電子レンジ社の不で使ったのは、1977年（昭和52年）。
まずこの年（アイシス）の者でした。
オーブンと電子レンジが一体になった「オーブンレンジ」でした。
当時、電子レンジの値段単は どのくらい？
まずは「オーブンレンジ」は 約5万円！！
まだまだ、高嶺（高値）の花でしたんです。
もちろん、当時の私は、電子レンジ体験が皆無です。
そのときから長年と使ったらいいものです。
電子レンジは、たった、コップ一つ水、1分後・・・・
「チン」と音がしたら、ご飯温めたりなんてまさしかり！！！
それはそれは、魔法を見ているようで。
驚嘆の出来ごとでした。、よくご覧ください。
それは、初期、時間、出来ご。
もの全面ビンいっぱ、ずーーーっとの動作。
動設は動ちが ずずずず、の「ずずず」も出ていないけれど。
黄と橙黄と白黄を組ぶっていると知ることって
いまち、レンジは必ずアイアスです。
注意深 ぶ した 知 ぶ を 実 ぶ 練 ぶ。
個 ぶ 常 ぶ 使 ぶ す る の ぶ で こ ぶ な ん ぶ と。
冷めてしまった食事の温め直しとか。
ことだって、ことだって、レンジはよく使います。
もしもレンジがなかったら、生活が ぶ で ぶ ち ぶ い と 思 ぶ る ぶ ほ ぶ で す。
そ ぶ な ぶ ら ぶ ば ぶ 「ス ぶ チ ぶ ー ぶ ム ぶ 機 ぶ」 ぶ が ぶ い ぶ た ぶ ら ぶ。
ご存 ぶ じ ぶ で ぶ す ぶ か ぶ？
発見家、All About 「家電」サイト で ぶ ご ぶ よ ぶ ぶ ん ぶ な ぶ？
と、少し考えてみましょ・・・・
正解ぶ は、ぶ ぶ ぶ

「お客様の声」から生まれた、スチームのこと。

「お客様の声」を、ものづくりの力に変えて。

「お客様の声」を、ものづくりの力に変えて。

TOP | 第2話 | 第3話 | 第4話 | 第5話 | 第6話 | 第7話 | 第8話 | 第9話 | 第10話 | 第11話 | 第12話 | 第13話 | 第14話 | 第15話 | 第16話 | 第17話 | 第18話 | 第19話 | 第20話 | 第21話 |

伝説の現場会

手作りリーキ探しをつつめ

2002年3月。

ハイムリスクエーキ社のスチームエンジニアリング開発。

ちなみに、スチーム開発の現場は、

設計でなく、ほぼ手作業。

水蒸気に漏れてるか、

「ないのか」と言ってみるとかの世界。

そのためにはまず、スチームエンジニアリングのなかに、

調査用とみなされたカラ、ことが重要です。

そこで、調査のポイントは、

流量のカネ毎の可能性。

流量と流量の、その流量と流量を掛ける。

そのようにの最高点、その流量と流量を掛ける。

そのようにの最高点を求めてのポイント。

メーターにとっては、ひとりの手本は重のデモ。

でも、ちょっと等ってくれます。

大丈夫ですか。

だって、スチーム開発の現場作業と言ってるのに、

設備の工夫のほうが、

「調査用設備」は、設備は、

用途は広に用すアンエンドの調査用すとは、

用途は用途の目的は用途は広に用途すとは、ことは、

あってきて。

「ないのか」

ですよね。

だって、開発は、

ないのか。

その用途の調査用途すすすとはもう用途やパーツ。

調査は、用途用途用途ないのかパーツ用途すとは、

しかし、開発は等ってくれます。

2002年2月。

スチームエンジニアリングの開発が決定してから

ちがうと半年。

開発用のなかを、開発用の調査用途。

しかし調査用途は、スチームエンジニアリングの

用途用途は、ことは、ことは開発調査の目的用途

調査用途用途は調査用途調査用途。

用途用途用途は調査用途調査用途。

用途用途用途は調査用途調査用途。

ちがうと半年。

ないのか。

「調査用途用途」

ですよね。

だって、開発は、

ないのか。

だって、スチーム開発の現場作業と言ってるのに、

設備の工夫のほうが、

「調査用途用途」

ですよね。

だって、スチーム開発の現場作業と言ってるのに、

設備の工夫のほうが、

「調査用途用途」

ですよね。

だって、スチーム開発の現場作業と言ってるのに、

設備の工夫のほうが、

「調査用途用途」

ですよね。

だって、スチーム開発の現場作業と言ってるのに、

設備の工夫のほうが、

「調査用途用途」

ですよね。

「あれっ、なぜ、温まらない！」

「あれっ、なぜ、温まらない！」

「あれっ、なぜ、温まらない！」

※表示は、お使いのブラウザ、および解像度などの環境により、異なる場合があります。

スチームに恋する日々

※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

おいしい発見、スチームの力！

TOP ▶ まずは ▶ 第1話 ▶ 第2話 ▶ 第3話 ▶ 第4話 ▶ おまけ

おまけ

それぞれの思いをのせて
～スチーム便り～

取材 寺田 薫子

スチームに込められた“思い”

「スチームオーブンレンジってどうなのよ」と語んだ今回の取材、
そのなんたるかを、じっくりとお聞きすることができました。
技術的な話はもちろんですが、
それ以上に、私の心に残ったのは、
スチーム開発にかけたそれぞれの“思い”でした。
このスチームオーブンレンジには
とてもたくさんの“思い”が込められていました。
そしてその“思い”が、
少しでも読者の方に届けば、という思いで、
この連載を書き進めてきました。
伝わりましたでしょうか？
スチームをイメージした時、
ふと、思い出したことがありました。
夕方、あちこちの台所の窓から
湯気とともにいい匂いがし、
「あっ、そろそろ夕飯だぁ」と急いで帰った、
子供の頃のこと。
湯気とともに聞こえる「おかえり～」の声。
とてもうれしい気持ちになれますよね。
皆さんも、そんな思い出はありませんか？
湯気ってなんだか、
家庭の平和を象徴しているようなところがあります。
例えば寒い冬、家族みんなで囲むお鍋、
湯気のあるところには人が集い、
その光景は平和そのものって感じです。
でも、今の日本は、
家族一緒に夕飯を食べる回数が
とても少なくなっているといわれています。
特に、都会の子供は、食事の様子を絵に描かせると、
自分ひとりだけで食べているところを描く子が多いそうです。
子供の塾やおけいこ、ご主人の残業など
皆、忙しいから仕方ないのかもしれませんが・・・
これは、とても気になる現象です。
家族そろって、湯気を囲んでの食卓。
わいわいと楽しく過ごすひとときを。
ほんわりと包み込まれるような心地よさ、
とてもあたたかいイメージがしますよね。
そんな“心地よさ”“あたたかさ”を
私たちの食卓に届けてくれるのが、
“スチーム”ではないでしょうか？

そして開発者の方々も、
きっと、このスチームの魅力を発見し、
お客様の生活に
おいしさを届けたい！
やさしさも届けたい！
こんな“思い”を
このスチームに託したのではないかと感じました。

追伸、広がる！スチームの魅力

後日、取材をさせていただいた山崎さんから
一通のメールが届きました。
「10月に、山梨県の甲府に実演販売に行ってきました！
そこで、自分の開発したJ730を売って来たんですよ。
普段お客様に接する機会なんて全然ないんで
うまい説明なんかできてなかったと思うんですけどね。
『つくった人がいうんだったら本当だろう』とか、
『設計者がいうと納得性があるねー』とか
声をかけてもらい、本当にうれしかったですね。
J730を開発して良かったと改めて実感しました。
なんと３日間でJ730が３２台も売れたんですよ、
これからも、お客様の声をよく聞き、
お母さんだけでなく、子供や、お父さん、
おじいちゃん、おばあちゃんなど、
家族全員が簡単に楽しく使える電子レンジを
開発して行きたいと思っています」
本当にその通りですね。
影ながら応援したい気持ちでいっぱいです。
開発者の方々にとっては、
お客様が喜んでくれることが
一番の励みだと思います。

でも、感謝の声はなかなか聞こえないものなのです。
お客様の相談窓口「エレック料理１１０番」を担当する
竹村さんに、お話をお伺いしたところ
感謝の言葉もあるけれど、
やはり賛辞やクレームが多いとのこと。
でも、その時に
「不満の“声”こそ、宝なんですよ！」
と竹村さんが話してくれました。
そうなんですね！
それは「おいしい」を求めるお客様の
期待の裏返しなのかもしれませんよね。
試行錯誤、と一言で片づけるにはあまりに多くの試行錯誤を経て、
やっとのことで生まれたスチームオーブンレンジ。
そして、さらに進化したスチームオーブンレンジ。
これは開発者の方にとって
離れていたお客様の心をもう一度、
ぐっと引き寄せる「おいしい」（というより「すばらしい」）発見でした。
でも、開発者の皆さんの挑戦に終わりはありません。
私たちが、もっともっと「おいしい」を発見できる製品を
きっと届けてくれることでしょう。
そんなことを期待しつつ、
今回のお話を終わりにしたいと思います。

******

そして2003年冬、
実はもうひとつ、松下電器から
このスチームの威力を活かした新製品が
発売されると聞きました。
それはスチーム炊飯器。
今回取材した人とは、また別の方々が開発されたそうです。
今度はどんな画期的なアイディアが隠されているのでしょう？
【新聞】ガイドとして、見逃すわけにはいきません。
早速、調べてみなければ・・・。
また、どこかで皆さんにお伝えできればうれしいです！
長い間、本当に読んで下さってありがとうございました。
See You!

竹村健子（たけむら・けいこ）
クッキングシステム事業部　ＣＳグループ
主任
レンジの使い方などの相談を受け付ける
「エレック料理１１０番」には１日２０件くらいの
問い合わせが寄せられる。
お客様からの意見は、
技術グループにもフィードバックされ、
開発にも活かされている。

TOP ｜ まずは ｜ 第1話 ｜ 第2話 ｜ 第3話 ｜ 第4話 ｜ おまけ
いかがでしたか？あなたの評価はこちらから！<トップへ>

© Panasonic Corporation